

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	990.80	2022/4/4
High	999.60	2022/4/4
Low	947.26	2022/4/7
Close	977.50	2022/4/8

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	8995.00	2022/4/4
High	9935.00	2022/4/8
Low	8638.00	2022/4/7
Close	9711.00	2022/4/8

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2274.50	2022/4/4
High	2480.00	2022/4/8
Low	2172.00	2022/4/7
Close	2429.00	2022/4/8

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8995.00	2022/4/4
High	9935.00	2022/4/8
Low	8638.00	2022/4/7
Close	9711.00	2022/4/8



ニュースエクスプレス

ロシア制裁を受け、パラジウム供給先を探す自動車メーカー：アングロ・アメリカン・プラチナム

アングロ・アメリカン・プラチナムのCEO のNatascha Viljoenは、ロシアの大手パラジウム生産者が制裁を課されていることを受けて、自動車メーカーからパラジウム供給についての問い合わせがあると、4月6日に語った。

Viljoen はヨハネスブルグで行われているPGM鉱山の会議、PGMs Industry Dayでの、ロイターとのインタビューの中で、同社と現在パラジウム供給契約のない会社が「新しいパラジウムの輸入先」を探していると語った。

自動車の排気ガス軽減のため自動車メーカーが必要とするパラジウムは、ロシアが世界の25%から30%を供給している。

<https://www.nasdaq.com/articles/anglo-american-platinum-says-carmakers-looking-for-palladium-after-russia-sanctions>

コモディティー価格は大きく高騰する可能性：J.P. モルガン

コモディティー価格は、経済の成長と、ロシアのウクライナ軍事侵攻で供給が止まっていることから、ここ数ヶ月間で大きく上昇している。

S&P GSCI コモディティー価格指標は昨年から26%上昇している。J.P. モルガンのストラテジストによると、コモディティー価格は今後さらに大きく上がる可能性がある。

ストラテジストのレポートによると「インフレヘッジの必要性がより高くなっている現在、金融資産全体に占めるコモディティーの割合が2008年、2011年のレベルを超えて、これから長期にわたって世界的に1%を超えると考えられる。」

それはコモディティー価格にとって何を意味するのか。「そのような展開で、コモディティー価格は現時点からさらに30%から40%上昇するだろう。」

他の専門家もコモディティーへの関心は衰えないとみている。「コモディティーに改めて目を向ける投資家もいるだろう。インフレ率も上がっているし、コモディティーをポートフォリオに戻すべきだろうかと。」とシュローダーのストラテジスト、Karim El Nokaliはウォール・ストリート・ジャーナルに語った。

<https://www.thestreet.com/investing/jp-morgan-commodity-prices-surge>

貴金属8元素混ぜ「夢の合金」京大が成功 触媒性能プラチナの10倍

金や銀、白金（プラチナ）など貴金属と呼ばれる8種類の元素を全て混ぜた合金の開発に世界で初めて成功したと、京都大などの研究チームが米国化学会誌に発表した。水から電気分解で水素を製造する触媒として、既存の白金と比べ10倍以上の性能があるといい、研究チームは「青銅器時代から約5000年間、誰も成功しなかった夢の合金ができた。エネルギー問題の解決にもつながる可能性がある」と期待する。

8元素は他にパラジウム、ロジウム、イリジウム、ルテニウム、オスミウム。いずれも希少で耐腐食性がある。水と油のように混ざらない組み合わせがあり、全て合わせるのは困難と考えられてきた。

<https://mainichi.jp/articles/20220330/k00/00m/040/049000c>

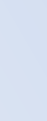
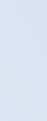
Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 水素関連の優遇策などによって燃料電池自動車(FCEV)のプラチナ需要は、2039年までに自動車の今のプラチナ需要に匹敵する量となる可能性がある。しかも燃料電池自動車により広範に普及すれば、それより早く今から11年後の2033年には、93.3トンが自動車需要に加算される可能性がある。詳しくは「2022年3月号 プラチナ投資のエッセンス 燃料電池自動車による長期的なプラチナ需要拡大の見通し」をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>



(@wpicjapan)